

平成 29 年度 会長基本方針

名花協青年部 37 代会長 玉田 純

未来に続く青年部

個を磨き、生涯の仲間を作ろう

「未来につなぐ」

今、歴史ある名花協青年部は、存続の危機をむかえています。5年後、10年後の青年部が普通に活動をしている・・・そんな未来は迎えられないのかもしれませんが。それは青年部だけではなく、この業界内のどの団体にも言える事ではないでしょうか？所属人数の低下、後継者問題・・・この問題に、会長として、青年部として、危機感と使命感をもって立ち向かっていかなければいけません。

そして、この危機感を部員全員で共有しなければいけません。長く在籍する部員から新入部員まで、青年部存続の為、一丸となって青年部の未来を見据え、存続してゆく為の活動を行っていく時がきました。私はこの1年を「青年部が普通に活動している。」そんな未来に続くような活動をしていきます。その中で私達は青年部にいる事の喜びや事業内で学ぶ事の大切さを強く感じられる1年になるはずです。

今期の必須活動として、新入部員獲得を掲げます。そして未来に繋げる為に、まずは花コミを行います。花コミとは、花と花で繋げよう花コミュニケーション！！略して花コミです。青年部内だけでなく、外部の人に向けても発信していきます。もちろん事業の一環なので青年部員の皆さんにメリットのある事業内容にしていきます。販売に繋がる技術的な講習会。視野を広げ、親睦を深められる交流会を行います。そこから青年部に興味がある人材発掘、また青年部の活動案内に繋げていきます。

事業を通して個を磨き、花コミを通して輪を広げ、私達部員全員と、これから仲間になる新入部員全員が、あたりまえに卒業していける青年部の地盤づくりを行います。

「技術の向上 不得意を得意に変える」

青年部員であるならば、誰もが技術向上を目指して日々努力しなければいけません。しかし技術向上と一口にいても、部員全員の求める技術とは、各々違うはずです。そこで、今年度はまず自分は何が得意で何が苦手か？それを各々が理解する事から始めます。意識するだけで人は変わっていきます。そして明確な自己目標を立て、それを克服できるよう日々努力します。苦手を得意に変えられれば、自然と自信もついてきます。それは自身の成長へと繋がり、仲間同士のライバル意識にもなり、お互いを高めあえる相乗効果となるはずです。

「親睦 生涯の仲間作り」

私達は一生のうち何年を青年部の仲間と過ごす事ができるのでしょうか？年齢も育った環境も違う私達です。生涯の仲間になり得るのでしょうか？しかし青年部活動を通じてで

きる仲間意識、花を通じて分かり合えるものには、他の場所でできた仲間とは違う何かがあります。花を生業にしていく以上、私達のまわりに花は一生ついてまわります。ここから先困難にぶつかった時相談できる相手や、息が詰まるとき共感できて気が抜ける相手は、生涯の宝なのではないでしょうか？そんな、生涯の仲間づくりをテーマに親睦事業を行います。また、今年度は研修旅行を行い、部員同士の交流を更に深めていきます。

最後に

私が思い描くここから先の1年は「安定」ではありません。辛く、険しい道かもしれません。しかし、怒涛の1年を皆さんと過ごしていきたいのです。私の愛する青年部が、5年後、10年後、ちゃんと活動している。そんな普通の未来の為に、部員一丸となりこの1年を活動していきましょう。私は、一生懸命に生きれば、きっと叶わない夢なんてないと信じています。しかし、私自身、何となく力をセーブしてはいないだろうか？と思う時があります。今年1年は、がむしゃらにやってみる。何事にも一生懸命取り組む事の大切さを、身をもって体現しようと思います。それは青年部時代だからこそできる事ではないでしょうか。いつもより高い場所にハードルを置き、全員で跳んでいきましょう。

40歳で卒業する私達にとって人生はまだ半分過ぎた位です。あと40年、50年を充実させるのは生涯の友と呼べる仲間なのではないでしょうか？気づくと時間はあっという間です。人生を楽しむ為に、共に泣き、笑い、一生に残る思い出を今ここで作りましょう。